

平成28年度 研究・調査企画会議 事前・中間評価部会（第8回）
議事概要

1 日時：平成29年1月19日（木）10：40～16：55

2 場所：食品安全委員会中会議室

3 出席者（7名）五十音順

圓藤 陽子（圓藤労働衛生コンサルタント事務所所長）

鬼武 一夫（日本生活協同組合連合会品質保証本部安全政策推進部部長）

村田 勝敬（秋田大学大学院医学系研究科教授）

佐藤 洋（食品安全委員会 委員長）

山添 康（食品安全委員会 委員長代理）

吉田 緑（食品安全委員会 委員）

◎山本 茂貴（食品安全委員会 委員）

（◎：座長）

その他、事務局から川島事務局長ほか10名が出席

4 議事概要

（1）平成28年度食品健康影響評価技術研究課題（課題番号：1503、1601、1602、1603、1604、1605、1606）の中間評価に係るヒアリング審査

○ 次年度への継続を予定している又は研究期間の延長の検討が必要な以下の7課題（以下参照）についてヒアリング審査を行い、研究継続の要否、研究計画の見直し等について審議した。

<延長検討課題>

1503：食事由来アクリルアミドばく露量推定方法の開発と妥当性の検討および大規模コホート研究に基づく発がんリスクとの関連に関する研究（祖父江友孝（大阪大学））

<継続予定課題>

1601：経管栄養食品等に含まれるセレン化合物の化学形態に着目したリスク評価及びバイオアベイラビリティに関する研究（小椋康光（千葉大学））

1602：インビボ毒性試験成績のデータベース化とそのインシリコ解析・評価への応用に関する研究（吉成浩一（静岡県立大学））

1603：食品用ペットボトルから溶出する化学物質の摂取量の推定に関する研究（尾崎麻子（大阪市立環境科学研究所））

1604：有機ヒ素化合物による発がんメカニズムの解明（鰐淵英機（大阪市立大学））

1605：血漿マイクロ RNA の発現変動を指標とした化学物質の新規毒性評価系の構築・評価研究（横井毅（名古屋大学））

1606：食肉由来腸球菌の抗菌性飼料添加物に対する耐性と多剤耐性伝達性プラスミドとの関係についての調査・研究（富田治芳（群馬大学））

- その結果、事務局において本日の審査結果を取りまとめ、次回の事前・中間評価部会において、評価所見等について審議を行い、中間評価結果（案）を決定することとなった。

（２）その他

- 事務局から、今後の事前・中間評価部会の開催スケジュールについて説明した。

—以上—

（注：本会議は個別具体的な研究者や研究課題名及び研究の内容に言及して議論が行われることから、非公開で行った。このため、本会議の議事概要についても、それらが特定されない形で公表するものである。）